



照度アップ! 32Wの明るい街路灯

### 街路灯と子どもの権利条例案について問う

露口哲治(自由民主党)

① 駅周辺や幹線道路沿いは明るく安全だが前原坂下地域や中町一、四丁目、貫井南町などは街路灯が少なく照度アップも遅れている。(ア)従来の20Wと32Wを比較検討して今後の改善を求める。(イ)駅から遠隔にある地域こそ優先的に照度アップが求められる。



都市整備部長 (ア)40Wまでは同一電気料金、設置費用は約2・5倍、寿命は約1・6倍と言われている。(イ)指摘の地域全体の照度アップは難しく個々の指摘に対応していく。

② すでに答申されている子どもの権利条例案に対して私は、子は親の行動を見て育つもので親の正義感にあふれた

### 消防活動にかかわる行政について問う

村山秀貴(小金井民主党)

① 消防団員募集状況の向上のために(ア)女性団員に対する市の見解は。(イ)全国各地で団員への様々な優遇措置が広がっている。小金井でも自動車学校と協定を結び運転免許費用の減額や、公共施設料金の割引等を検討しないか。(ウ)ホームページを開設し活動紹



介や団員の所属事業所等のバーナードを行わないか。

総務部長 (ア)団員については性別を問うものではないが少数精鋭の小金井の場合、現行の技術、体力を維持した体制を確保することが重要だ。消防団運営審議会に提案があったことを伝えたい。(イ)先進市の状況を把握して検討した

い。(ウ)ホームページは有効な手段なので検討したい。

② 住宅用火災警報器について(ア)他市でも行っている高齢者世帯等への購入費補助をしないか。(イ)取付作業の補助等をシルバー人材センターに委託しては。(ウ)取付詐欺(悪徳商法)の対策は。

### 命を守るために— 小金井市のがん対策を問う

青木ひかる(みどりの風)

東京都では、今年3月、がん対策基本法に沿った「東京都がん対策推進計画」が策定され、がん検診の受診率50%をめざすことが目標として掲げられた。(ア)5年後を目標年度とする受診率向上の年次計画を策定すべきではないか。(イ)武蔵野市では肺がん検診、



大腸がん検診を特定検診と同時に行う方針だが、小金井市もこのような方針を取って受診率を上げるべきではないか。

(ウ)健康的な生活習慣や、がんについての正しい知識の普及啓発のために、学校教育の中でがん体験者による「いのちの授業」を行わないか。(エ)武蔵野赤十字病院で行われてい

る、東京都のがん患者によるピアカウンセリング事業について広報しないか。

健康課長 (ア)他市の目標設定の状況などを参考にしながら、今後検討させていただきたい。(エ)都と相談し、質問の趣旨を活かしたい。

### 小金井市消防団員の募集について

高木真人(自由民主党)

小金井市消防団は伝統があり、少数精鋭の実践派で、常に高い評価を受けています。とは言え、全国的な団員数減少傾向は我がまちでも同じで、4月改選期では、過去に例を見ない厳しい結果となりました。現在、団員の募集に関しては、町会役員さんが中心と



なり候補者を探していますが、時代の変遷により、農業や事業を営む青年が減少しており、従前の体制を維持するのが困難な状況です。2年に一度の改選とは言え、町会の負担は

かなり重く、傍目から見ても気の毒な思いがします。他自治体では、サラリーマン、女性団員も一定数いるようです。

小金井市は大学生の割合が都内一と言う特色があります。今日まで少数精鋭の消防団ではありますが、2年後の改選に向け、消防団のあり方について再協議する時期だと私は考えますが、市のご見解は。

市長 世に組織離れの風潮があります。しかし、地震や風水害に対し、市民の安全、安心のためにも消防団の充実が必要であります。消防団運営審議会に諮問するなどして、2年後には、欠員の出ない募集体制を確立したい。

### 介護サービスの充実と向上のために

和田茂雄(公明党)

介護保険制度の課題・対策について問う。都福祉保健局の調査では、06年度決算で都内332の特別養護老人ホームの内、165施設が赤字という。市内の特養ホームにお聞きしたところ、一様に厳しい経営状況に直面されているようだ。介護事業の拠点である特養で



の介護労働がハードな割に、制度上、報酬が低く抑えられている実情があり、このままではサービスの低下につながる。介護拠点である特養の存続とサービスの充実・向上が図れるよう行動すべきだ。(イ)稲城市で導入された介護ボランティア制度、すなわち元気な高齢者が介護支

援の貢献をされた場合、ポイントに換算で、自分の介護保険料に充てる制度を検討されたか。

福祉保健部長 (ア)介護従事者の待遇改善を見据えた適正な介護報酬を設定すべく国に働きかけるよう市長会を通じて都にお願している。これは第4期の報酬改定に向けて取り組まねばならない課題と



消防団出初式

### 子どもたちの安心・安全を守るために

鈴木洋子(公明党)

① (ア)不審者情報が出た場合、学校は万全な対応をしているか。警察や保護者とも連携を密にして、更なる子どもたちの安全策を講じて欲しい。(イ)通学路の再点検。樹木が生い茂っていて低学年の児童などが見えない所もあるので通学路の再点検をし、危険な所は



改善策を講じて欲しい。

② 学校でのアレルギー児童の対応について、文科省は昨年4月に「学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン」を作成し、それに基づいた学校の取組を求めているが、プランを立てているか。

学校教育部長 各学校とも連携をとり対応を検討したい。

③ エコエネルギーの活用の啓発事業として、太陽光パネルを設置した場合には、助成をしないか。

環境部長 先進市を研究し、前向きに検討したい。他にクールアース・デーを提案。



屋根に太陽電池パネルが設置された「バルタウン城西の杜」